

# 「橋杭岩」

[串本町]

昔々、弘法大師と天の邪鬼が旅して串本までやって来ました。橋がないので大島の人々が不便だと聞き、夜中のうちに橋を架けようと思い立ちました。大きな岩をひょいと海中に建てる弘法大師をよそ目に働きのイキヤな天の邪鬼は、作業を止めさせようと鶏のマネをして、朝が来たの知らせたのです。何度も「コケコッコ」と聞こえるので、弘法大師は朝が来たと勘違いし、橋作りを途中で止めてしまいました。それが今にこの橋杭岩です。

参考/和歌山県ふるさとアーカイブ



# 11

2022 / November

12月	日	月	火	水	木	金	土
2022年						1	2
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

日	Sunday	月	Monday	火	Tuesday	水	Wednesday	木	Thursday	金	Friday	土	Saturday
30		31		1	大安	2	赤口	3	先勝 文化の日	4	友引	5	先負
6	仏滅	7	大安	8	赤口	9	先勝	10	友引	11	先負	12	仏滅
13	大安	14	赤口	15	先勝	16	友引	17	先負	18	仏滅	19	大安
20	赤口	21	先勝	22	友引	23	先負 勤労感謝の日	24	大安	25	赤口	26	先勝
27	友引	28	先負	29	仏滅	30	大安	1		2		3	

# 「紙すきの話」

[有田川町(旧清水町)]

昔、笠松左太夫(かさまつさたゆう)という人がいて、いつも村に有利な仕事がないものかと考えていた。ある日、他村に見に行ったら、大切な紙すきの方法をどこでも教えてくれず、ことごとく追い帰された。思案のうえ村の懐かしい若者三人を小間物屋に仕立て、吉野に送り込んだ。若い娘が喜びそうな小間物を持って、紙干板の並ぶ家々をまわった。これが功を奏し村人の娘と結婚した。この娘に紙すき技術を教わり、村が栄えたと言う。

参考/和歌山県ふるさとアーカイブ



# 12

2022 / December

1月	日	月	火	水	木	金	土
2023年		1	2	3	4	5	6
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

日	Sunday	月	Monday	火	Tuesday	水	Wednesday	木	Thursday	金	Friday	土	Saturday
27		28		29		30		1	赤口	2	先勝	3	友引
4	先負	5	仏滅	6	大安	7	赤口	8	先勝	9	友引	10	先負
11	仏滅	12	大安	13	赤口	14	先勝	15	友引	16	先負	17	仏滅
18	大安	19	赤口	20	先勝	21	友引	22	先負	23	赤口	24	先勝
25	友引 クリスマス	26	先負	27	仏滅	28	大安	29	赤口	30	先勝	31	友引